



みんなのお金、 どう使う? どう活かす?

議員が聞いた 25年度予算と町の考え

予算説明書をはじめ、町から示された資料等をもとに議員全員で精査した予算審議は、3月13日・14日の2日間にわたって行われました。
本会議で出された質疑の中から、抜粋してご紹介します。



坂本建治 議長

(歳入) 固定資産税・都市計画税の増収要因

大久保幸夫 前年度に対し4億2700万円の増収ですが、これはホンダ寄居工場関連による増収とみてよいのか。また家屋増収分の3億4000万円は、ほぼ平年度ベースとなるのか。償却資産増収分8600万円は、平年度ベースのどの程度になるのか伺います。

答弁 増収分の相当程度がホンダ寄居工場関連によるものです。また、家屋増収分は、ほぼ平年度ベース、償却資産増収分については平年度ベースの5〜6分の1程度になると見込んでいます。

(総務費) 用土コミュニティステーション

岡本安明 用土コミュニティステーション維持管理事業費の、具体的な内容について伺います。

答弁 用土コミュニティステーションの維持管理事業については、地元からの要望もあり、25年度については1日当たり1時間程度の清掃業務等を約200日行うもので、この費用が17万2000円です。また、これも地元から要望のあった水道布設工事費が49万円、その他の電気代、水道代、火災保険料等が9万8000円、合計で76万円です。

(総務費) 防犯灯電気料補助金

原口 昇 防犯灯電気料補助金について伺います。行政区については厳しい財政状況の中で、3分の1を負担しています。町で全額負担してはどうですか。

答弁 防犯灯の電気料については、行政区が3分の1を負担、町が3分の2を補助しています。昭和57年度から平成6年度までは2分の1を、平成7年度からは3分の2の補助としました。今後も同様に考えています。

(民生費) 地域支えあい活動活性化事業

真下 昇 地域支えあい活動活性化事業は、町内全域で開始され、25年度は活動の定着化と強化を図るとありますが、現時点での成果を伺います。

答弁 地域支えあい見守り事業では672世帯、693名が登録、救急医療情報キットは641世帯、670名に配付し、地域支えあいの会は56行政区で組織され、会員数は約1000名となっております。

(衛生費) 合併処理浄化槽の設置実績

津久井康雄 「公共下水道や農業集落排水事業の区域外では、費用対効果の高い合併処理浄化槽の設置を積極的に進める」と、所信表明で述べられています。しかし、今年度の合併処理浄化槽設置整備

事業補助金は、前年度より69万円減額の1743万6000円です。この補助事業の実績件数を伺います。

答弁 23年度は、5人槽が新設12基、転換15基、7人槽が新設4基、転換12基、10人槽はなく、補助実績は43基です。24年度は集計中です。

(衛生費) バイオマス資源利用調査

原口 孝 町では数年前にバイオマス資源利用調査をされましたが、課題や費用対効果からか進みませんでした。何を目標として今回改めて調査委託するのか伺います。

答弁 町は大里広域市町村圏組合でごみを共同処理していますが、減量化・資源化により、処理経費を減らしていくことも一つの目標となります。今まで廃棄物として捨てられていたものを将来的にはバイオマス資源化・事業化に向け、調査が無駄にならないように努めます。

(農林水産業費) 金尾山の整備状況と今後の計画

稲山良文 11月16日開催の第37回全国育樹祭では、金尾山を会場に「お手入れ行事」があります。金尾山周辺の整備状況と今後の計画について伺います。

答弁 県道の法面整備、駐車場の建設、寄居橋

の塗装を県が実施しています。今後は記念樹・御製^{ミツクリ}の周囲の修景整備が予定されています。

町では、当初予算に実行委員会補助金を計上し、関係者や地元のご協力により、皇太子殿下同妃殿下をお迎えするにふさわしい育樹祭にしていきたいと考えています。

(農林水産業費) 農産物加工施設維持管理費

大平久幸 TPP^{ペイプ}へ参加、関税撤廃という状況は、日本農業に壊滅的な影響があると懸念が広がっています。農業の6次産業化ということから、この加工場の成功が大きく期待されます。6次産業化とTPP交渉についての考えを伺います。

答弁 生産から加工、販売までつながる6次産業化という面からも、加工施設の運営は重要と考えます。町から職員も派遣し、しっかりとした体制で成功に導きたいと考えています。TPP交渉は国家間の問題であり、回答は控えます。

(農林水産業費) 加工施設への補助内容

大久保博幸 農産物加工施設維持管理運営委託料には、加工品の原料費500万円も含まれていると説明がありました。農